

今知ってほしい！

問 文化スポーツ部（☎内線4302）

文化スポーツ施設の現状と課題

文化スポーツ施設は、地域活動やまちづくりなどの拠点としても活用されているため、どなたにとっても身近で大事な施設です。そんな文化スポーツ施設の現状や課題についてお知らせします。

詳しくは二次元コードから



文化スポーツ施設の種類の

市内には、4区分85施設の文化スポーツ施設があります。※図書館、博物館などを除く。公民館：13館（各地区1館）

ホール、会議室、和室、調理実習室など

文化施設・・・4施設

文化ホール、会議室、芝居小屋など

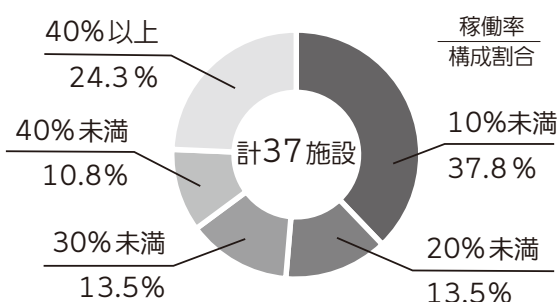
スポーツ施設・・・41施設

体育館、武道場、野球場、テニスコート、プール、グラウンドなど

学校開放施設・・・27施設

体育館、グラウンドなど

グラフ1 主なスポーツ施設の稼働率別構成割合（R6年度）



最も数が多いスポーツ施設のうち、主な施設の約4割が稼働率10%未満にとどまっています。また、稼働率が40%以上の施設は約2割で、全体として稼働率が低い状況です。（グラフ1）

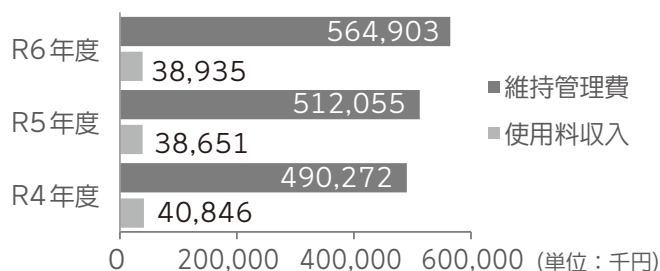
スポーツ施設の稼働率の使用状況（稼働率）

使用料収入と維持管理費とのギャップ

施設の稼働率が低い一方、近年の物価高や人件費の高騰により、施設の維持管理費は年々高くなっています。（グラフ2）

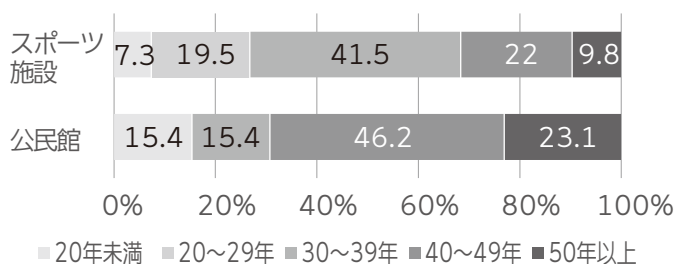
加えて、築30年以上を経過している文化スポーツ施設が多く、全体的に老朽化が進み、修繕が必要な状況です。（グラフ3）

グラフ2 文化スポーツ施設の維持管理費と使用料収入



▲毎年の使用料は、維持管理費の約7%で推移

グラフ3 スポーツ施設と公民館の築年数別構成割合



▲スポーツ施設の約7割、公民館の約8割が、築30年以上経過

持続可能な施設運営のために

文化スポーツ施設は、地域のにぎわいや人づくりのために、日々多くの方が集い、活動している場所です。この施設を安全で快適に利用していただくためにはどうすればよいのか、皆さんと一緒に考える時期に来ています。